

令和 5年 2月 22日

古河市議会議長

鈴木 隆 殿

会 派 名 市民ベースの会

代表者氏名 落合 康之

発言者氏名 倉持 健一

代表質問発言通告書

令和5年第1回古河市議会定例会における施政方針に対し、下記の事項について、会派を代表して質問したいので通告します。

| 大項目 | 質問事項 | 質問要旨(具体的内容) | 答弁を求める者 |
|------------|-----------------|---|---------|
| 1. 3つの重点施策 | (1) 包摂社会の実現について | ①ヤングケアラーや生活に困窮している世帯の子どもなど支援を必要としている実態調査について ②これらの問題に対する支援体制について | 市長 |
| | | | |

| 大項目 | 質問事項 | 質問要旨(具体的内容) | 答弁を求める者 |
|----------------------------|-------------------------------|--|---------|
| 2. 健康福祉「互いに支え合う古河(まち)をつくる」 | (1) 地域の子どもの困りごとをつなぐネットワークについて | <p>①官民協働によるネットワーク形成には「人・物・金・場所」が必要であるが、人的支援、助成金や公共施設の提供(利用減免措置等)はあるのか。</p> <p>②子どもの困りごとは主に保護者の健康・精神面や経済状況といった諸事情が大きく関係しているため、重層的支援体制が必須である。過去1年間の実績はどうだったのか、また、解決に至ったのか。</p> | 市長 |
| | | | |
| | | | |

| 大項目 | 質問事項 | 質問要旨(具体的内容) | 答弁を求める者 |
|-------------------------------|---------------------------|--|---------|
| 3. 教育文化「人が育ち文化の息づく古河(まち)をつくる」 | (1) インクルーシブ教育について | ①医療的ケアも含め特別な配慮を要する児童生徒の就学前・就学後の相談および受入体制や就学後のバックアップ体制について ②特別支援学校との連携について | 市長 |
| | (2) 市の現状に合った高等教育機関の誘致について | ①文部科学省の資料では、2020年春入学の大学志願者数66万人に対し、定員総数は約62万人。2040年には大学進学者数が約51万人にまで減るとの推計がある中で、今、何故、高等教育機関の誘致なのか。 | 市長 |
| | (3) 文化施設整備推進事業について | ①「古河市新公会堂」は、何をするとところなのか。以前、白紙になった総合的文化施設とはどう違うのか。 | 市長 |
| 4. 都市基盤「魅力的で利便性の高い古河(まち)をつくる」 | (1) 古河駅東部土地区画整理事業について | ①交流拠点として相応しい土地利用の促進とは、具体的にどのような協議を行うのか。 | 市長 |

| 大項目 | 質問事項 | 質問要旨(具体的内容) | 答弁を求める者 |
|---------------------------|--------------------------------|--|---------|
| 5. 行財政「古河(まち)づくりを支える行政経営」 | (1) 行財政「古河(まち)づくりを支える行政経営」について | ①「市民満足度の向上」及び「質の高い行政サービス」の提供について。 ②「窓口業務の委託化」についてどのように捉えているか。 | 市長 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |